



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場会社名 中部日本放送株式会社
 コード番号 9402 URL <http://hicbc.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

(氏名) 大石 幼一
 (氏名) 山下 雅弘
 配当支払開始予定日

TEL 052-259-1322
 平成24年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	16,205	2.2	818	23.6	957	21.3	487	26.9
24年3月期第2四半期	15,849	△2.2	662	12.8	789	16.3	384	47.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △154百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 145百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	18.46	—
24年3月期第2四半期	14.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	58,668	44,558	74.7
24年3月期	59,898	44,918	73.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 43,802百万円 24年3月期 44,159百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	7.50	12.50
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,650	△0.4	2,180	0.9	2,390	0.3	1,340	△3.0	50.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	26,400,000 株	24年3月期	26,400,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	783 株	24年3月期	674 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	26,399,260 株	24年3月期2Q	26,399,393 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考) 個別業績予想

平成25年3月期の個別業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	29,120	△0.4	1,970	3.6	2,180	1.7	1,240	△6.8	46	97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
4. (参考) 個別業績	P. 11
(1) 個別経営成績(累計)	P. 11
(2) 個別財政状態	P. 11
(3) 個別売上高の内訳(累計)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)
25年3月期 第2四半期	16,205	818	957	487
24年3月期 第2四半期	15,849	662	789	384
増減率(%)	2.2	23.6	21.3	26.9

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要などから国内需要が堅調に推移するもとで緩やかに持ち直しつつありましたが、海外経済の減速が強まるとともに輸出や生産が弱まり、持ち直しの動きが一服しています。

テレビ広告市況は、エコカー補助金による需要増に対応した自動車の出稿増加や国内の個人消費の底堅さを背景として改善しましたが、期間終盤は企業の業況感の慎重化もあり、市況は停滞しました。

このような事業環境の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、162億5百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

利益面では、営業利益は8億18百万円（前年同期比23.6%増）、経常利益は9億57百万円（前年同期比21.3%増）、四半期純利益は4億87百万円（前年同期比26.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

	放送関連		不動産賃貸		ゴルフ場		その他	
	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
25年3月期 第2四半期	14,828	310	702	430	282	24	391	53
24年3月期 第2四半期	14,389	143	769	460	270	0	420	60
増減率(%)	3.1	116.9	△8.6	△6.5	4.2	—	△6.8	△12.0

(注) 売上高については、セグメント間の取引を相殺消去しております。

〈放送関連〉

「放送関連」は、収入の大きな柱であるテレビスポット収入において、前年の震災による落ち込みからの反動もあり、「輸送機器」などの出稿が増加したことから、売上高は148億28百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

利益面では、売上高の増加に加え、減価償却費が減少したことから、営業利益は3億10百万円（前年同期比116.9%増）となりました。

〈不動産賃貸〉

「不動産賃貸」は、東京の賃貸ビルにおいてテナントからの賃料収入が減少したことにより、売上高は7億2百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

利益面では、東京の賃貸ビルにおける売上高の減少が響き、営業利益は4億30百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

〈ゴルフ場〉

「ゴルフ場」は、震災の影響による落ち込みから回復し、来場者数が増加したことから、売上高が2億82百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は24百万円（前年同期は0百万円）となりました。

〈その他〉

保険代理業、タクシー業などで構成される「その他」は、売上高が3億91百万円（前年同期比6.8%減）、営業利益は53百万円（前年同期比12.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

①資産の部

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて12億29百万円減少し、586億68百万円となりました。

流動資産は98百万円増加しました。内訳としては、まず現金及び預金が2億71百万円減少しておりますが、流動資産の「その他」に含まれる信託受益権を10億円購入しておりますので、この影響を除くと現金及び預金は7億28百万円増加しております。その一方で、受取手形及び売掛金が5億92百万円減少しております。

固定資産は13億28百万円減少しました。内訳としては、減価償却などにより有形及び無形固定資産が4億92百万円減少し、また保有株式の時価下落に伴い投資有価証券が9億8百万円減少しております。

②負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて8億69百万円減少し、141億10百万円となりました。主な内訳としては、未払費用が1億92百万円減少し、保有株式の時価下落に伴い繰延税金負債が3億15百万円減少し、さらに長期預り保証金が2億60百万円減少しております。

③純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて3億60百万円減少し、445億58百万円となりました。これは、四半期純利益の計上と配当金の支払いとの差額により利益剰余金が2億89百万円増加した一方で、保有株式の時価下落に伴いその他有価証券評価差額金が6億46百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの収入に大きな影響を与える広告市場の動向は、景況感の悪化により停滞しており、先行きにつきまして不透明なものとなっております。こうした事業環境の下、柱となるテレビスポット収入におきましても、当初見込みを下回る水準で推移していることから、平成25年3月期通期の連結および個別の業績予想を修正いたします。

今回修正予想と平成24年5月10日に公表いたしました前回発表予想との差異は以下の通りです。

平成25年3月期の通期業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位：百万円、%)

		前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率	前期実績
連結	売上高	33,110	32,650	△460	△1.4	32,782
	営業利益	2,280	2,180	△100	△4.4	2,161
	経常利益	2,450	2,390	△60	△2.4	2,384
	当期純利益	1,460	1,340	△120	△8.2	1,382
個別	売上高	29,600	29,120	△480	△1.6	29,242
	営業利益	2,110	1,970	△140	△6.6	1,901
	経常利益	2,280	2,180	△100	△4.4	2,144
	当期純利益	1,380	1,240	△140	△10.1	1,331

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,345	13,074
受取手形及び売掛金	7,218	6,625
有価証券	1,875	1,925
たな卸資産	39	63
繰延税金資産	409	412
その他	850	1,734
貸倒引当金	△11	△9
流動資産合計	23,727	23,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,179	25,145
減価償却累計額	△14,833	△15,100
建物及び構築物(純額)	10,346	10,045
機械装置及び運搬具	22,529	22,495
減価償却累計額	△20,667	△20,772
機械装置及び運搬具(純額)	1,862	1,723
土地	10,511	10,504
その他	1,458	1,469
減価償却累計額	△1,195	△1,211
その他(純額)	262	257
有形固定資産合計	22,982	22,530
無形固定資産		
	309	268
投資その他の資産		
投資有価証券	9,248	8,339
前払年金費用	2,482	2,547
繰延税金資産	230	242
その他	1,112	1,108
貸倒引当金	△193	△194
投資その他の資産合計	12,879	12,042
固定資産合計	36,170	34,842
資産合計	59,898	58,668

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	166	152
未払費用	2,738	2,545
未払法人税等	373	340
引当金	122	127
その他	1,281	1,313
流動負債合計	4,682	4,480
固定負債		
退職給付引当金	712	726
その他の引当金	142	121
資産除去債務	103	71
繰延税金負債	1,226	910
長期預り保証金	7,442	7,182
その他	669	618
固定負債合計	10,297	9,630
負債合計	14,979	14,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	654	654
利益剰余金	41,754	42,043
自己株式	△0	△0
株主資本合計	43,728	44,017
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	431	△214
その他の包括利益累計額合計	431	△214
少数株主持分	759	755
純資産合計	44,918	44,558
負債純資産合計	59,898	58,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	15,849	16,205
売上原価	8,991	9,071
売上総利益	6,858	7,133
販売費及び一般管理費	6,195	6,314
営業利益	662	818
営業外収益		
受取利息	15	11
受取配当金	99	114
補助金収入	29	—
その他	35	60
営業外収益合計	179	186
営業外費用		
支払利息	48	43
固定資産除却損	2	2
貸倒引当金繰入額	0	0
その他	1	2
営業外費用合計	52	48
経常利益	789	957
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8
会員権売却益	0	—
固定資産売却益	—	52
特別利益合計	0	60
特別損失		
投資有価証券評価損	31	192
会員権売却損	0	—
固定資産除却損	2	16
特別損失合計	34	209
税金等調整前四半期純利益	755	807
法人税等	360	315
少数株主損益調整前四半期純利益	395	491
少数株主利益	11	4
四半期純利益	384	487

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	395	491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△249	△646
その他の包括利益合計	△249	△646
四半期包括利益	145	△154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134	△159
少数株主に係る四半期包括利益	11	4

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	放送関連	不動産 賃貸	ゴルフ場	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,389	769	270	15,429	420	15,849	—	15,849
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61	93	2	157	322	479	△479	—
計	14,451	862	273	15,587	742	16,329	△479	15,849
セグメント利益	143	460	0	604	60	664	△2	662

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業、OA機器販売、旅客運送業(タクシー)等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去額です。

3 セグメント利益664百万円は、四半期連結損益計算書の営業利益662百万円と調整を行っています。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	放送関連	不動産 賃貸	ゴルフ場	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,828	702	282	15,813	391	16,205	—	16,205
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41	93	2	137	317	454	△454	—
計	14,870	796	284	15,951	708	16,660	△454	16,205
セグメント利益	310	430	24	765	53	818	0	818

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業、OA機器販売、旅客運送業(タクシー)等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額です。

3 セグメント利益818百万円は、四半期連結損益計算書の営業利益818百万円と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更によるセグメント情報に与える影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. (参考)個別業績

①四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビューの対象ではありません。

②「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	14,549	2.2	690	28.0	848	21.1	435	16.7
24年3月期第2四半期	14,232	0.2	539	30.5	700	32.4	373	76.9

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
25年3月期第2四半期	50,492	40,628
24年3月期	51,628	41,035

(3) 個別売上高の内訳(累計)

(単位:百万円、%)

	前第2四半期 (平成24年3月期 第2四半期)	当第2四半期 (平成25年3月期 第2四半期)	増減	
	金額	金額	金額	増減率
ラジオ収入	1,220	1,224	4	0.4
タイム収入	687	684	△2	△0.3
スポット収入	501	516	15	3.1
その他収入	31	23	△8	△26.3
テレビ収入	12,456	12,769	313	2.5
タイム収入	3,697	3,709	12	0.3
スポット収入	7,123	7,362	238	3.4
クロスメディア収入	603	708	105	17.4
その他収入	1,032	989	△43	△4.2
賃貸収入	555	555	△0	△0.1
合計	14,232	14,549	317	2.2